

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
栄養学		選択	2	2,3,4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
永井 正則 他	B 304	mnagai	水曜、木曜 12 : 00 ~ 13 : 00		
授業の目的・概要	<p><目的>栄養学は、健康や医療、福祉、スポーツなど多くの領域に関わっている。栄養学を学ぶことで、健康と食に関する知識を深め、将来リハビリテーションや福祉の現場に立つときの総合力を養う。 <概要>同時双方向授業により学習する。</p>				
学習上の助言	理学療法学科と作業療法学科の学生は、「生理学」の知識を再確認しながら聴講してほしい。福祉心理学の学生は、講義の概要の把握に努めるとともに、不明な点については積極的に質問してほしい。				
教科書	教科書は指定しない。授業に先立ち講義資料を配信する。教科書的なものを手元に置きたいという学生には、希望に沿った書籍を紹介する。				
参考書	1)オールカラー しっかり学べる！栄養学/川端照江/ナツメ社 2)糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版/日本糖尿病学会/分光社/2013 3)日本人の食事摂取基準 2015年度版/菱田明・佐々木敏監修/第一出版 4)食品成分表 2015年版(7訂)/香川明夫監修/女子栄養大学出版社 5)生理学(第3版)/内田さえ 他著/医歯薬出版(1年次に使用したもの)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	消化・吸収のメカニズムについて理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
②	五大栄養素の働きについて理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
③	健康の維持および疾病の予防と栄養の関連を理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
④	代謝測定法、運動と栄養、ライフステージと栄養について理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	序：人と食の関わりを考える。日本人の食の歴史を学ぶ。大学生の食について考える。[担当：永井正則]	同時双方向授業	課題：日本人の食生活の変遷、大学生の食の現状	4	
2	摂食行動とその調節：脳による摂食行動の調節、摂食行動と生体リズムとの関連などについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：摂食行動の調節、摂食行動と生体リズム	4	
3	消化・吸収のメカニズム①：咀嚼や嚥下のメカニズム、誤嚥、唾液、食道の構造と運動について学ぶ。[担当：永井正則]		課題：咀嚼と嚥下のメカニズム、誤嚥、唾液の成分と作用、食道の運動	4	
4	消化・吸収のメカニズム②：胃の構造と消化酵素の働き、胃粘膜防御機構、消化性潰瘍について学ぶ。[担当：永井正則]		課題：胃の構造と消化酵素の働き、胃粘膜防御機構、消化性潰瘍	4	
5	消化・吸収のメカニズム③：小腸での消化吸収について学ぶ、最終消化と吸収について学ぶ。大腸の構造と運動、排便のメカニズム、下痢、便秘について学ぶ。[担当：永井正則]		課題：小腸での消化、栄養素の最終消化と吸収、大腸の構造と運動、排便のメカニズム、下痢、便秘	4	
6	栄養素とその働き①：糖の種類と分類、糖の代謝、血糖値の調節、糖新生、食物繊維、糖尿病、糖代謝異常などについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：糖の種類と分類、糖の代謝、血糖値の調節、糖新生、食物繊維、糖代謝異常	4	
7	栄養素とその働き②：タンパク質の構造と種類、アミノ酸、タンパクの分解と排泄などについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：タンパク質の構造と種類、アミノ酸、タンパク質の分解と排泄	4	
8	栄養素をその働き③：脂質の構造と種類、飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、脂質膜の流動性、コレステロール、動脈硬化、脂質代謝異常などについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：脂質の構造と種類、飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、コレステロール、動脈硬化、脂質代謝異常	4	
9	栄養素とその働き④：脂溶性ビタミンの種類と働きについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：脂溶性ビタミンの種類と働き	4	
10	栄養素とその働き⑤：水溶性ビタミンの種類と働きについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：水溶性ビタミンの種類と働き	4	
11	栄養素とその働き⑥：ナトリウム、カリウム、カルシウム、亜鉛、鉄、ヨウ素などのミネラルについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：ナトリウム、カリウム、カルシウム、亜鉛、鉄、ヨウ素などの役割	4	
12	エネルギー代謝：エネルギー代謝の測定法、推定エネルギー必要量、BMI、METs などについて学ぶ。[担当：永井正則]		課題：エネルギー代謝の測定法、推定エネルギー必要量、BMI、METs	4	
13	スポーツと栄養：アスリートにおける栄養管理について学ぶ。[担当：粕山達也]		課題：アスリートの栄養管理	4	
14	生活習慣病と食事：生活習慣病患者における栄養状態の変化と対処法について学ぶ。[担当：永井正則]		課題：生活習慣病と食事、糖尿病の食事療法	4	
15	ライフステージと栄養：高齢者、妊婦、乳幼児などの栄養について学ぶ。[担当：永井正則]		課題：高齢者のサルコペニアと栄養、妊婦と乳幼児の栄養	4	
試	定期試験 [担当：永井正則] 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	定期テストの成績で評価する。試験では基礎的知識を問う問題と応用的問題を出題する。試験に先立って問題集を配信する。問題集はサブノートとして利用できるよう工夫されているので、講義終了後も活用してほしい。			定期試験後に試験問題の解答と解説を配信する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Teams を使って遠隔授業を行います。課題ダウンロードなどがありますので、通信容量制限がある場合は通信料に十分に注意してください。同時双方向型授業は時間割に沿って行います。10 分前には準備を整えておいてください。今後、新型コロナウイルスの発生状況等により、シラバスが再び変更される可能性があります。</p> <p>担当教員：◎永井正則、粕山達也</p>							